

# 総合評価方式による 一般競争入札について



令和7年度  
福岡北九州高速道路公社  
企画部 技術管理課

## 注意

**本資料は説明用に加工しています。  
入札に参加申し込みをされる際は  
各案件の公告内容をご確認ください。**

**令和7年度  
企画部 技術管理課 技術審査係**

# 目次

- 01 総合評価方式の概要
- 02 福岡北九州高速道路公社の総合評価方式
- 03 総合評価方式の評価内容
- 04 技術資料提出にあたって
- 05 無効の入札について
- 06 低入札価格調査制度について
- 07 R7年度からの申請書等提出について
- 08 監理技術者等の専任配置の特例





# 目次

- 01 **総合評価方式の概要**
- 02 **福岡北九州高速道路公社の総合評価方式**
- 03 **総合評価方式の評価内容**
- 04 **技術資料提出にあたって**
- 05 **無効の入札について**
- 06 **低入札価格調査制度について**
- 07 **R7年度からの申請書等提出について**
- 08 **監理技術者等の専任配置の特例**



# 1 総合評価方式の概要

## 1-1 総合評価方式とは

- **価格**だけでなく、「簡易な施工計画」や「技術提案」さらに企業および配置予定技術者等の**技術力**を評価
- 最も評価値の高いものを落札候補者とする方式

(除算方式)

$$\begin{array}{l} \text{評価値} \\ \text{(落札候補者決定の指標)} \end{array} = \frac{\begin{array}{l} \text{※技術評価点} \\ \text{(標準点+加算点)} \end{array}}{\text{入札価格}} \times 100,000,000$$

※技術評価点:標準点(100点)+加算点(簡易A型:0~30点、簡易型:0~40点、標準型:0~60点)

# 1 総合評価方式の概要

## 1-2 総合評価方式の例

(予定価格 1 億円)

### 【価格競争の場合】

|    | 入札価格  |    |
|----|-------|----|
| A社 | 9,600 |    |
| B社 | 8,900 | 落札 |
| C社 | 9,200 |    |
| D社 | 9,050 |    |

最低価格者である  
B社が落札候補者

(予定価格 1 億円  
調査基準価格 9,100万円  
失格基準価格 9,000万円の場合)

### 【総合評価方式の場合】

|    | 入札価格  | 評価点   | 評価値     |    |
|----|-------|-------|---------|----|
| A社 | 9,600 | 120.2 | 125.208 | 落札 |
| B社 | 8,900 | 115.4 | 129.662 | 失格 |
| C社 | 9,200 | 114.9 | 124.891 |    |
| D社 | 9,050 | 113.3 | 124.505 | 低入 |

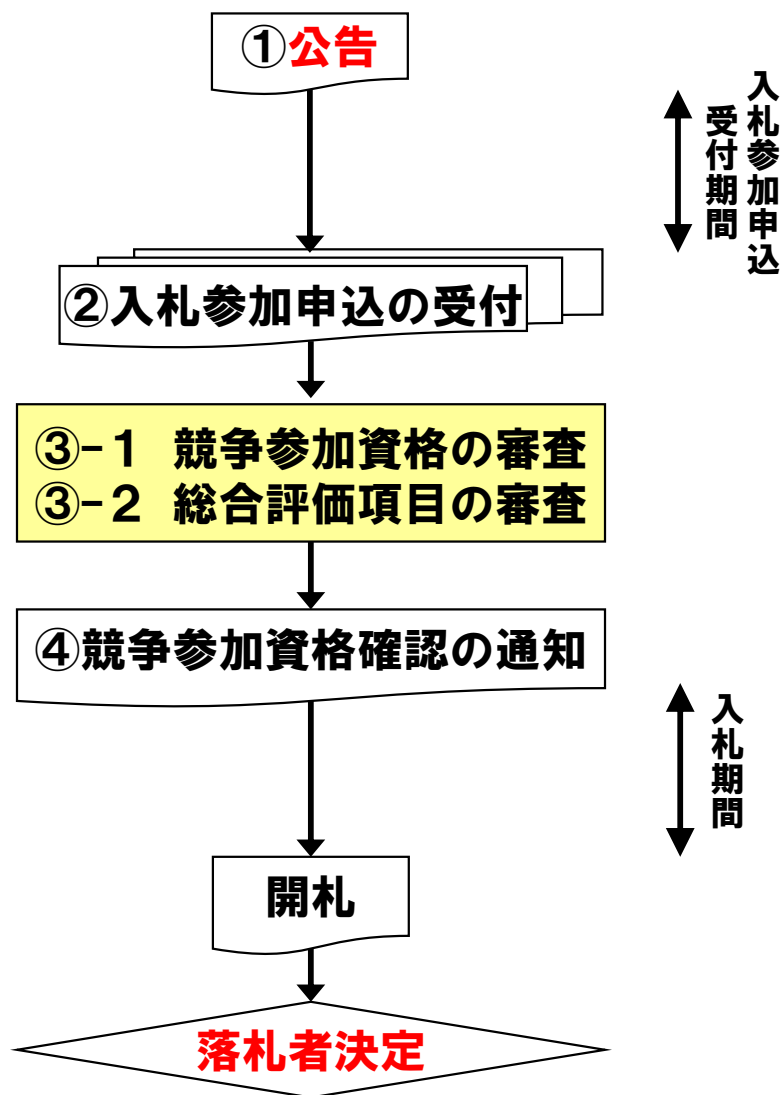
\*評価点 = 100 + 加算点

最も評価値が高かったA社が落札候補者

価格競争では入札価格によって落札候補者を決定するが、  
総合評価方式では評価値の最も高い者が落札候補者となる。

# 1 総合評価方式の概要

## 1-3 総合評価方式の進め方



- ①当公社HPにて工事公告及び入札説明書等を掲載。  
入札参加申込に必要な**技術資料**等（各種様式や注意事項等）がダウンロード可能となる。
- ②入札参加申込締切日までに**技術資料**を作成の上、  
紙提出が指定された資料及び電子データで提出する。
- ③-1技術資料により、**入札参加資格**を審査し、**参加資格の有無**を決定する。
- ③-2技術資料により、総合評価項目（**簡易な施工計画（簡易A型）**、**簡易な技術提案（簡易型）**、**企業の技術力及び配置予定技術者の能力**）を審査
- ④競争参加資格確認通知書が「有」の場合、入札が可能となる。

※ 公告から落札者決定までは、通常約60日



# 目次

- 01 総合評価方式の概要
- 02 福岡北九州高速道路公社の総合評価方式
- 03 総合評価方式の評価内容
- 04 技術資料提出にあたって
- 05 無効の入札について
- 06 低入札価格調査制度について
- 07 R7年度からの申請書等提出について
- 08 監理技術者等の専任配置の特例





## 2 福岡北九州高速道路公社の総合評価方式

### 2-1 総合評価方式の競争参加資格条件(例)

- (1) 競争参加者は、**単体**とする。
- (2) 当公社の令和6年度・令和7年度一般競争入札(指名競争)入札参加資格者名簿(令和6年8月1日版)において、**〇〇工事で認定**されていること。
- (3) 入札参加資格者名簿に登載された**格付けが、〇等級**であること。
- (4) 入札参加資格者名簿に登載された、本店、支店又は営業所等の**住所が、福岡県内**であること。
- (5) 平成22年4月1日から申請書及び資料の提出期間の最終日までに元請として完成・引渡しが完了した国、地方公共団体、公共法人(法人税法別表第1に掲げるもの。)、公益法人等(法人税法別表第2に掲げるもの。 )又は国土交通省令(建設業法施行規則第18条)で**定める法人が発注した、次に掲げる同種工事の施工実績**を有すること。

## 2 福岡北九州高速道路公社の総合評価方式

### 2-1 総合評価方式の競争参加資格条件(例)

- (6) **簡易な施工計画(技術提案)が適切**であること。適切であるとは、必要事項の記載があり、かつ、発注者が示す課題を明らかに逸脱したものではないことをいう。
- (7) **次に掲げる基準を満たす主任(監理)技術者を本工事に配置**できること。その旨を明示する資料の提出がなされない場合は、競争参加資格はないものとする。
  - ① **所属業者と3ヶ月以上の直接的かつ恒常的な雇用関係にあることが証明**できること。
  - ② **〇〇施工管理技士又は技術士(〇〇部門)の資格を有する者**であること。
  - ③ **監理技術者にあつては、申請書等の最終日において、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者**であること。
  - ④ (5)に示す**同種工事の施工実績**があること。

※申請時は各案件の公告記載事項をご確認ください

# 2 福岡北九州高速道路公社の総合評価方式

## 2-2 総合評価方式の適用と型式選定

### 適用

5千万円以上の建設工事において、技術的な工夫の余地がないもの及び急施を要するものを除く全ての工事

### 型式の選定

・工事規模によらず、工事難易度に応じ、以下のいずれかを選定。

| 型式   | 主な評価項目                                                                                            | 工事種別(例)                    | 難易度                                                                        |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| 簡易A型 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易な施工計画</li> <li>・企業的能力等</li> <li>・配置予定技術者の能力等</li> </ul> | しゃ音壁工事、塗装工事<br>電気工事、電気通信工事 | <div>             低             <div></div>             高           </div> |
| 簡易型  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易な技術提案</li> <li>・企業的能力等</li> <li>・配置予定技術者の能力等</li> </ul> | 土木工事(橋梁補修、橋脚補修、高欄補修)、舗装工事  |                                                                            |
| 標準型  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術提案</li> <li>・企業的能力等</li> <li>・配置予定技術者の能力等</li> </ul>    | 新設工事                       |                                                                            |



## 2 福岡北九州高速道路公社の総合評価方式

### 2-3 総合評価項目

| 型式   | 評価項目        |                         | 選択項目      |
|------|-------------|-------------------------|-----------|
| 簡易A型 | 簡易な施工計画     | 施工上配慮すべき事項              |           |
| 簡易型  | 簡易な技術提案     | 品質管理に係る技術的所見            | 1項目以上を選択  |
|      |             | 施工上配慮すべき事項 等            |           |
| 標準型  | 技術提案        | 総合コスト縮減、性能、社会的要請に係る事項等  | 1項目以上を選択  |
| 共通   | 企業の能力等      | 工事成績                    | 必須        |
|      |             | 表彰                      |           |
|      |             | 同種工事の実績                 | どれか1項目を選択 |
|      |             | 施工実績の規模                 |           |
|      |             | 〇〇工事の実績                 |           |
|      |             | 建設業労働災害防止協会加入           | 3～4項目選択   |
|      |             | 若手・女性技術者の専任配置           |           |
|      |             | 建設業労働安全衛生マネジメントシステム等の認証 |           |
|      |             | 近隣地域内工事の実績              |           |
|      |             | 継続的な技術者保有に基づく信頼度        |           |
|      |             | 工事の確実かつ円滑な実施体制としての拠点    |           |
|      |             | 災害協定団体への加入              |           |
|      | 配置予定技術者の能力等 | 工事实績                    | 必須        |
|      |             | 工事成績                    |           |
|      |             | 表彰                      |           |
|      |             | 配置予定技術者の資格              |           |
|      |             | 発注者の指定する資格保有技術者         | どれか1項目を選択 |
|      |             | 同種工事の実績                 |           |

※選択することが多い項目を抜粋

# 目次

- 01 総合評価方式の概要
- 02 福岡北九州高速道路公社の総合評価方式
- 03 総合評価方式の評価内容
- 04 技術資料提出にあたって
- 05 無効の入札について
- 06 低入札価格調査制度について
- 07 R7年度からの申請書等提出について
- 08 監理技術者等の専任配置の特例



# 3 総合評価方式の評価内容

## 3-1 簡易な施工計画(簡易A型の評価項目)

| 型式   | 評価項目        |                              | 選択項目      |
|------|-------------|------------------------------|-----------|
| 簡易A型 | 簡易な施工計画     | 施工上配慮すべき事項                   |           |
| 簡易型  | 簡易な技術提案     | 品質管理に係る技術的所見<br>施工上配慮すべき事項 等 | 1項目以上を選択  |
| 標準型  | 技術提案        | 総合コスト縮減、性能、社会的要請に係る事項等       | 1項目以上を選択  |
| 共通   | 企業の能力等      | 工事成績                         | 必須        |
|      |             | 表彰                           |           |
|      |             | 同種工事の実績                      | どれか1項目を選択 |
|      |             | 施工実績の規模                      |           |
|      |             | 〇〇工事の実績                      |           |
|      |             | 建設業労働災害防止協会加入                | 3～4項目選択   |
|      |             | 若手・女性技術者の専任配置                |           |
|      |             | 建設業労働安全衛生マネジメントシステム等の認証      |           |
|      |             | 近隣地域内工事の実績                   |           |
|      |             | 継続的な技術者保有に基づく信頼度             |           |
|      |             | 工事の確実かつ円滑な実施体制としての拠点         |           |
|      |             | 災害協定団体への加入                   |           |
|      | 配置予定技術者の能力等 | 工事实績                         | 必須        |
|      |             | 工事成績                         |           |
|      |             | 表彰                           |           |
|      |             | 配置予定技術者の資格                   |           |
|      |             | 発注者の指定する資格保有技術者              | どれか1項目を選択 |
|      |             | 同種工事の実績                      |           |

※選択することが多い項目を抜粋

# 3 総合評価方式の評価内容

## 3-1 簡易な施工計画(簡易A型の評価項目)

| テーマ(例)                       | 評価基準 |
|------------------------------|------|
| 〇〇工の施工中における近隣住民への騒音対策について    | 可・不可 |
| 〇〇作業時における作業員及び通行車両への安全確保について |      |
| 〇〇工における通行止め時の工程管理の工夫について     |      |
| 〇〇作業における施工上の安全対策について         |      |
| 〇〇工の施工時における品質管理の工夫について       |      |

- ・ 記載が適切であれば、「可」とし、不適切であれば「不可」とする。  
また、記述がない場合も「不可」とする。「不可」の場合は参加資格無しとする。
- ・ 提案数は1提案とする。
- ・ **設計変更を要する**内容は記載しないでください。
- ・ 実施に当たり**第三者との協議を要する**など不確実性を有する提案は記載しないでください。
- ・ 標題及び内容の未記入、文字数の制限超過、様式の変更をしないようにしてください。

※申請時は各案件の公告記載事項をご確認ください



# 3 総合評価方式の評価内容

## 簡易な施工計画

この様式は、次の工事に共通する様式です。

- ・ □□□□工事 (R○-1)
- ・ □□□□工事 (R○-2)

会社名 又は 特定建設工事共同企業体名 : \_\_\_\_\_  
 (特定建設工事共同企業体で申請する場合は、代表者が作成すること。)

| 評価項目       | 発注者が指定した課題     |
|------------|----------------|
| 施工上配慮すべき事項 | 舗装の品質・施工管理について |

|     |                                                       |
|-----|-------------------------------------------------------|
| 提 案 | <input type="radio"/> <input type="radio"/> . . . . . |
| 内 容 | <input type="radio"/> <input type="radio"/> . . . . . |
|     |                                                       |
|     |                                                       |
|     |                                                       |
|     |                                                       |
|     |                                                       |
|     |                                                       |
|     |                                                       |
|     |                                                       |
|     |                                                       |

- 可 : 提案内容が適切である (実施義務あり) 提案内容で施工すること
- 不可 : 提案内容が適切でない (競争参加資格なし)

本様式を使用し、1枚で作成してください。

**「提案」「内容」欄について**  
 ○「提案」欄に提案の見出しを必ず書いてください。(適当な項目を申請者が設定してください。提案数は1提案とします。)  
 ○「内容」欄の文字数が200文字を超える場合、「内容」欄が未記入は不可となります。  
 ○説明図が必要な場合は別添資料とせず、「内容」欄に収めてください。説明図が別添資料の場合は、不可となります。  
 ○実施に当たり第三者との協議を要する場合は、不可となります。  
 ○設計変更を要する内容を記載した場合は、不可となります。  
 ○書式(書体・行間・文字間隔・大きさ・下線・太字・斜字)を変更した提案は不可となります。  
 ○NETISに登録されている工法等を提案する場合は、登録番号を正確に記入してください。  
**※様式使用上の注意**  
 ○他のファイルから「内容」を貼付ける場合は、最初の1マス目の文字を残してメニューバーの【編集】-【形式を選択して貼り付け】から「テキスト」を選択して貼り付けてください。(上記以外の方法で貼り付けると書式が変更されます。)  
 ○原稿枠を消去しないでください。  
 ○罫線の変更や行・列の挿入削除は行わないでください。

# 3 総合評価方式の評価内容

## 3-2 簡易な技術提案(簡易型の評価項目)

| 型式   | 評価項目        |                         | 選択項目      |
|------|-------------|-------------------------|-----------|
| 簡易A型 | 簡易な施工計画     | 施工上配慮すべき事項              |           |
| 簡易型  | 簡易な技術提案     | 品質管理に係る技術的所見            | 1項目以上を選択  |
|      |             | 施工上配慮すべき事項 等            |           |
| 標準型  | 技術提案        | 総合コスト縮減、性能、社会的要請に係る事項等  | 1項目以上を選択  |
| 共通   | 企業の能力等      | 工事成績                    | 必須        |
|      |             | 表彰                      |           |
|      |             | 同種工事の実績                 | どれか1項目を選択 |
|      |             | 施工実績の規模                 |           |
|      |             | 〇〇工事の実績                 |           |
|      |             | 建設業労働災害防止協会加入           | 3～4項目選択   |
|      |             | 若手・女性技術者の専任配置           |           |
|      |             | 建設業労働安全衛生マネジメントシステム等の認証 |           |
|      |             | 近隣地域内工事の実績              |           |
|      |             | 継続的な技術者保有に基づく信頼度        |           |
|      |             | 工事の確実かつ円滑な実施体制としての拠点    |           |
|      |             | 災害協定団体への加入              |           |
|      | 配置予定技術者の能力等 | 工事实績                    | 必須        |
|      |             | 工事成績                    |           |
|      |             | 表彰                      |           |
|      |             | 配置予定技術者の資格              |           |
|      |             | 発注者の指定する資格保有技術者         | どれか1項目を選択 |
|      |             | 同種工事の実績                 |           |

※選択することが多い項目を抜粋

# 3 総合評価方式の評価内容

## 3-2 簡易な技術提案(簡易型の評価項目)

品質管理に係る技術的所見、施工上配慮すべき事項

| テーマ(例)                   | 評価基準     |
|--------------------------|----------|
| 〇〇工における騒音・振動対策について       | 優・良・可・不可 |
| 〇〇工における品質・施工管理の工夫について    |          |
| 工事内容及び現場内容を踏まえた、〇〇への安全対策 |          |
| 〇〇工における施工上の工夫について        |          |

- ・ テーマは、**2つ**設定されています。
- ・ 各テーマに関する提案は**4提案以内**とする。  
各提案毎に「優、良、可、不可」の4段階で評価を行う。
- ・ テーマにおける提案全てが不可である場合、**参加資格は無し**とする。
- ・ **同一項目内**で複数の提案を記載した場合の**2つ目以降の提案は評価の対象としない**。
- ・ **2テーマに対して同一の提案**を行った場合の**片方のテーマの項目の提案は評価の対象としない**。
- ・ 標題、内容、文字数の制限、様式の変更はしないでください。

※申請時は各案件の公告記載事項をご確認ください

# 3 総合評価方式の評価内容

## 簡易な技術提案

この様式は、次の工事に共通する様式です。

- ・○○工事（1-1）
- ・○○工事（1-2）

※番号を合わせることを。 会社名 又は 特定建設工事共同企業体名：○○○○○○○○○○○○○○○○○○

| 評価項目         | 発注者が指定した課題          |
|--------------|---------------------|
| ○○○○に係る技術的所見 | ○○○○工の○○○○の○○○○について |

| 番号 | 提案                | 具体的な提案内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|----|-------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①  | ○○○○○○○○○<br>について | <div>① ○ ○ ○ ○ ○</div> <div>※提案の見出しを必ず記入すること。</div> <div>本様式を使用し、1枚で作成すること。<br/>記載方法について<br/>(1) 入札公告に添付されたファイル(様式第2-簡)を必ず使用し、フォーマットに従って1テーマにつき4つ以内の提案を記載する。<br/>(2) フォントサイズは、11ポイントとする。<br/>(3) 「番号」欄に提案する数の①～④を記入し、「提案」欄に提案の見出しを記入する。<br/>(4) 「番号」欄と「具体的な提案内容」欄の番号は合わせる。<br/>(5) 説明図が必要な場合は別添資料とせず、「具体的な提案内容」欄に収める。<br/>(6) NETISに登録されている工法等を提案する場合は、登録番号を正確に記入する。<br/>(7) 他のファイルから「具体的な提案内容」を貼付ける場合は、最初の1マス目の文字を残してメニューバーの【編集】-【形式を選択して貼り付け】から「テキスト」を選択して貼り付ける。<br/><br/>※様式使用上の注意<br/>○ 書式(書体・行間・文字間隔・大きさ等)は、1マスに1文字が入るように設定されているので変更しないこと。<br/>○ 他のファイルから「具体的な提案内容」を貼付ける場合は、最初の1マス目の文字を残してメニューバーの【編集】-【形式を選択して貼り付け】から「テキスト」を選択して貼り付けること(上記以外の方法で貼り付けると書式が変更される。)<br/>○ 原稿枠を消去しないこと。<br/>○ 罫線の変更や行・列の挿入削除は行わないこと。<br/><br/>「番号」「提案」「具体的な提案内容」欄について<br/>○ 「提案」欄に提案の見出しを必ず記入すること(適当な項目を申請者が設定すること。提案数は4提案以内とする。)<br/>○ 「具体的な提案内容」欄は、提案毎に具体的な提案内容を箇条書きにまとめること。<br/>○ 「番号」欄と「具体的な提案内容」欄の番号は合わせること。<br/>○ 「具体的な提案内容」欄の文字数は4提案全てで480文字以内とする。<br/>○ 説明図が必要な場合は別添資料とせず、「具体的な提案内容」欄に収めること。<br/>○ NETISに登録されている工法等を提案する場合は、登録番号を正確に記入すること。<br/>○ 「提案」に示す内容及び番号と「具体的な提案内容」に示す内容及び番号が一致しない場合は、評価しない。</div> |

評価 「優」又は  
「可」  
「不可」

案



# 3 総合評価方式の評価内容

## 3-3 技術提案(標準型の評価項目)

| 型式   | 評価項目        |                         | 選択項目      |
|------|-------------|-------------------------|-----------|
| 簡易A型 | 簡易な施工計画     | 施工上配慮すべき事項              |           |
| 簡易型  | 簡易な技術提案     | 品質管理に係る技術的所見            | 1項目以上を選択  |
|      |             | 施工上配慮すべき事項 等            |           |
| 標準型  | 技術提案        | 総合コスト縮減、性能、社会的要請に係る事項等  | 1項目以上を選択  |
| 共通   | 企業の能力等      | 工事成績                    | 必須        |
|      |             | 表彰                      |           |
|      |             | 同種工事の実績                 | どれか1項目を選択 |
|      |             | 施工実績の規模                 |           |
|      |             | 〇〇工事の実績                 |           |
|      |             | 建設業労働災害防止協会加入           | 3～4項目選択   |
|      |             | 若手・女性技術者の専任配置           |           |
|      |             | 建設業労働安全衛生マネジメントシステム等の認証 |           |
|      |             | 近隣地域内工事の実績              |           |
|      |             | 継続的な技術者保有に基づく信頼度        |           |
|      |             | 工事の確実かつ円滑な実施体制としての拠点    |           |
|      |             | 災害協定団体への加入              |           |
|      | 配置予定技術者の能力等 | 工事实績                    | 必須        |
|      |             | 工事成績                    |           |
|      |             | 表彰                      |           |
|      |             | 配置予定技術者の資格              |           |
|      |             | 発注者の指定する資格保有技術者         | どれか1項目を選択 |
|      |             | 同種工事の実績                 |           |

※選択することが多い項目を抜粋

# 3 総合評価方式の評価内容

## 3-3 技術提案(標準型の評価項目)

工事目的物の性能・機能の向上、社会的要請への対応

| テーマ(例)                     | 評価基準     |
|----------------------------|----------|
| 〇〇桁の制作における品質確保を図るための工夫について | 優・良・可・不可 |
| 〇〇部材の制作から架設までにおける工夫について    |          |
| 〇〇に配慮した騒音・振動・粉塵への対策について    |          |
| 〇〇における交通安全対策の工夫について        |          |

- ・ テーマは、**4つ**設定されています。
- ・ 各テーマに関する提案は**5提案以内**とする。  
各提案毎に「優、良、可、不可」の4段階で評価を行う。
- ・ テーマにおける提案全てが不可である場合、**参加資格は無し**とする。
- ・ **同一項目内**で複数の提案を記載した場合の**2つ目以降の提案は評価の対象としない**。
- ・ **2テーマに対して同一の提案**を行った場合の**片方のテーマの項目の提案は評価の対象としない**。
- ・ 標題、内容、文字数の制限、様式の変更はしないでください。

※申請時は各案件の公告記載事項をご確認ください



都市高速  
URBAN EXPRESSWAY

|                           |  |
|---------------------------|--|
| 調査項目                      |  |
| 評価項目                      |  |
| ○技術提案内容に伴うわかりやすい説明資料(図表等) |  |

# 3 総合評価方式の評価内容

## 3-4 注意事項(簡易型:簡易な技術提案)

(記載内容について)

(1) 「**テーマに対応した**様々な着目点からの提案を記載すること。」

・過去に評価された提案であっても、技術の進展により評価されなくなる場合があります。

## 大前提

(2) 「原則、提案については履行義務を伴うため、実施の実現性や具体性には十分配慮すること。」



### 3 総合評価方式の評価内容

#### (評価の対象としない記載内容の例)

- (1) 提案の効果、実施の実現等が判断できないもの。
- 提案の目的、対象、具体的な実施の方法や手段  
基準、場所、時期、数量等(数量、範囲、頻度等)、製品仕様が不明確であり、効果、提案の実施の実現が判断できないもの。
- (2) 提案の実施が不確実なもの。  
**第三者や発注者との協議、調整、協力が必要**なため、提案の実施の実現に不確実性を有するもの。  
(警察、施設管理者、地元など)
- (3) 提案の実施が曖昧なもの。  
(「…を必要に応じて行う」、「できる限り…する」等)

履行確認が困難

### 3 総合評価方式の評価内容

#### (評価の対象としない記載内容の例)

- (4) **提案の実施にあたり、当該工事における提案以外の項目の数量、構造等に設計変更を要するもの。**
- (5) **公告の設計書、仕様書等で明示している工事目的物の仕様、形状、規格の変更及び追加。**
- (6) **標準的なもの、もしくは効果が期待できないものや、過度なコスト増を誘引するもの。**
- (7) **過度なコスト負担を要する「オーバースペックな提案」と判断させるもの**
  - ・コンクリートへの材料等の添加・追加等、仕様・規格・配合の変更
  - ・図面、仕様書等で指定している使用機械や仮設材等の変更及び追加
  - ・人員(交通誘導警備員、監視員等)の増員、追加配置等

### 3 総合評価方式の評価内容

#### （評価の対象としない記載内容の例）

- （8） 提案の内容が標準的なものと同様なもの又は同程度と判断されるもの  
（管理基準、管理の規定値等を自主的に上乘せ設定したものも含む。）  
公告の設計書、仕様書、土木工事共通仕様書、土木工事施工管理の手引きや関係法令等に基づき行うべき内容
- （9） 提案の内容の効果の程度及び範囲が適当でない、効果の程度及び範囲が不明瞭なもの
- （10） 通常の現場管理や安全管理、労働安全衛生に類するもの  
・工事看板の設置、補修や清掃 等
- （11） 一般的な法令・規則の遵守やマナーの向上に類するもの  
・飲酒運転、ポイ捨ての抑止 等
- （12） 当該工事と無関係のもの  
・地域やボランティア団体等が実施している清掃活動等への参加等

※申請時は各案件の公告記載事項をご確認ください

### 3 総合評価方式の評価内容

#### 3-5 「簡易A型：簡易な施工計画」 「簡易型：簡易な技術提案」の履行について

◆「簡易な施工計画」、「簡易な技術提案に」に記載された内容については、契約後速やかに発注者と受注者で協議を行い、履行の内容について確認する。

◆発注者は履行状況の確認を行い、**受注者の責により不履行と判断されたときは、工事成績評定に反映(減点)を行う。**

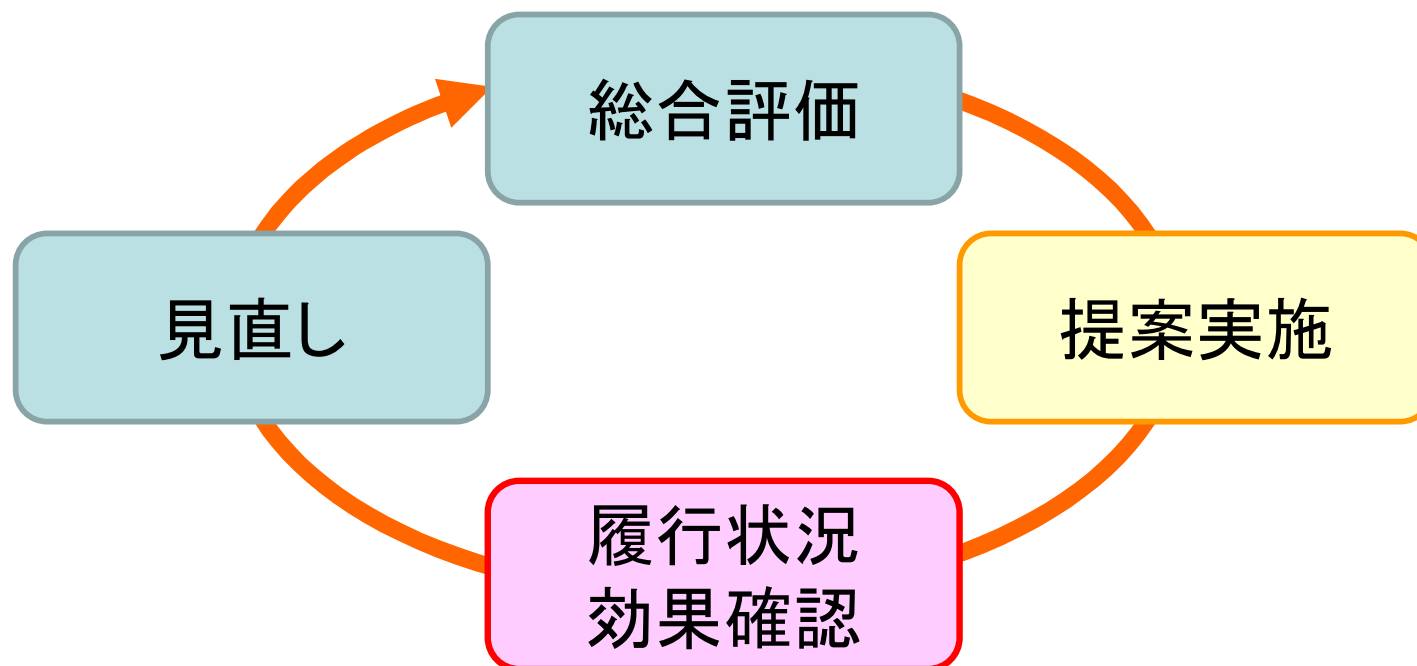


### 3 総合評価方式の評価内容

#### 3-5 「簡易A型：簡易な施工計画」、「簡易型：簡易な技術提案」の履行状況、効果確認について

簡易な施工計画・技術提案の**実施状況を現場で確認**します。

- どういう風に現場で実施されているのか(履行状況)?
- 提案どおりの効果が認められるか?



# 3 総合評価方式の評価内容

## 企業の能力等の評価項目

| 型式   | 評価項目        |                         | 選択項目      |
|------|-------------|-------------------------|-----------|
| 簡易A型 | 簡易な施工計画     | 施工上配慮すべき事項              |           |
| 簡易型  | 簡易な技術提案     | 品質管理に係る技術的所見            | 1項目以上を選択  |
|      |             | 施工上配慮すべき事項 等            |           |
| 標準型  | 技術提案        | 総合コスト縮減、性能、社会的要請に係る事項等  | 1項目以上を選択  |
| 共通   | 企業の能力等      | 工事成績                    | 必須        |
|      |             | 表彰                      |           |
|      |             | 同種工事の実績                 | どれか1項目を選択 |
|      |             | 施工実績の規模                 |           |
|      |             | 〇〇工事の実績                 |           |
|      |             | 建設業労働災害防止協会加入           | 3～4項目選択   |
|      |             | 若手・女性技術者の専任配置           |           |
|      |             | 建設業労働安全衛生マネジメントシステム等の認証 |           |
|      |             | 近隣地域内工事の実績              |           |
|      |             | 継続的な技術者保有に基づく信頼度        |           |
|      |             | 工事の確実かつ円滑な実施体制としての拠点    |           |
|      |             | 災害協定団体への加入              |           |
|      | 配置予定技術者の能力等 | 工事实績                    | 必須        |
|      |             | 工事成績                    |           |
|      |             | 表彰                      |           |
|      |             | 配置予定技術者の資格              |           |
|      |             | 発注者の指定する資格保有技術者         | どれか1項目を選択 |
|      |             | 同種工事の実績                 |           |

※選択することが多い項目を抜粋

# 3 総合評価方式の評価内容

## 3-6 企業の能力等

評価項目： 工事成績

| 評価内容      | 配点   |
|-----------|------|
| 80点以上     | 100% |
| 77点以上     | 75%  |
| 74点以上     | 50%  |
| 71点以上     | 25%  |
| 71点未満又はなし | 0%   |

- ・対象工事は、**平成27年4月1日**から**令和7年3月31日**までの間に元請として、完成・引渡しが完了した当公社発注工事（工事種別は発注工事と同種別に限る）において、工事成績評定を受けた**当公社発注工事の平均点**
- ・ただし、**当公社発注工事の実績がない場合で、令和2年4月1日から令和7年3月31日**までの間に元請として、完成・引渡しが完了した**国土交通省九州地方整備局発注工事**（工事種別は発注工事と同種別に限る）において、工事成績評定を受けた工事成績平均点に低減率を乗じた平均値

※申請時は各案件の公告記載事項をご確認ください

# 3 総合評価方式の評価内容

## 3-6 企業の能力等

評価項目：表彰

| 評価内容 | 配点   |
|------|------|
| 表彰あり | 100% |
| 表彰なし | 0%   |

- ・対象は、平成27年4月1日から申請書等の提出期間の最終日までに当公社から優良工事表彰を受けた実績
- ・土木関係工事の場合の対象工事種別は、「土木、鋼橋、舗装、塗装、プレストレスト・コンクリート、しゃ音壁、道路標識・区画線、造園」とする。年間委託業務は除く。
- ・施設関係工事の場合の対象工事種別は、「発注する工事と同種別に限る」とする。

※申請時は各案件の公告記載事項をご確認ください

# 3 総合評価方式の評価内容

## 3-6 企業の能力等

評価項目： 同種工事の実績

| 評価内容 | 配点   |
|------|------|
| 3件   | 100% |
| 2件   | 50%  |
| 0~1件 | 0%   |

〇〇工事の実績

| 評価内容 | 配点   |
|------|------|
| 3件   | 100% |
| 1~2件 | 50%  |
| 0件   | 0%   |

- ・平成27年4月1日から申請書等の提出期間の最終日までに元請として完成・引渡しが完了した、国・地方公共団体、公共法人（法人税法別表第1に掲げるもの。）公益法人等（法人税法別表第2に掲げるもの。）又は国土交通省令（建設業法施行規則第18条）で定める法人が発注した同種工事（〇〇工事の場合）。
  - ・当公社工事である場合は、工事成績評定通知書の評定点が65点以上のものであること。
  - ・特定JVの構成員としての実績も認める。（出資比率が20%以上のものに限る。）
  - ・施工実績として提出する工事に係るCORINSの竣工登録内容確認書類の写し（変更がある場合は最終のものであること。）を一式提出すること。
- CORINSにて、施工内容が明確かつ客観的に判断できない場合は、完成・引渡しが完了した時点の設計書、図面、特記仕様書を含む契約書等の写しを提出すること。

※申請時は各案件の公告記載事項をご確認ください



# 3 総合評価方式の評価内容

## 3-6 企業の能力等

### 評価項目： 施工実績の規模

| 評価内容                | 配点   |
|---------------------|------|
| 当該工事の施工規模以上         | 100% |
| 指定した工事規模以上～当該工事規模未満 | 50%  |
| 指定した工事規模未満          | 0%   |

- ・平成27年4月1日から申請書等の提出期間の最終日までに元請として完成・引渡しが完了した、国・地方公共団体、公共法人（法人税法別表第1に掲げるもの。）公益法人等（法人税法別表第2に掲げるもの。）又は国土交通省令（建設業法施行規則第18条）で定める法人が発注した同種工事における**施工実績の規模**。
- ・当公社工事である場合は、工事成績評定通知書の評定点が65点以上のものであること。
- ・特定JVの構成員としての実績も認める。（出資比率が20%以上のものに限る。）
- ・施工実績として提出する工事に係るCORINSの竣工登録内容確認書類の写し（変更がある場合は最終のものであること。）を一式提出すること。

CORINSにて、**施工内容及び施工規模が明確かつ客観的に判断できない場合は、完成・引渡し**  
**が完了した時点の設計書、図面、特記仕様書を含む契約書等の写しを提出すること。**

※申請時は各案件の公告記載事項をご確認ください

### 3 総合評価方式の評価内容

#### 3-6 企業の能力等

評価項目： 建設業労働災害防止協会加入

| 評価内容 | 配点   |
|------|------|
| 加入   | 100% |
| なし   | 0%   |

- ・ **申請書等の提出期間の最終日において**、建設業労働災害防止協会への加入の有無。
- ・ 加入支部については問わない。
- ・ 申請書等の提出期間の最終日より、**6カ月以内**に発行された建災防協会加入証明書を提出すること。（加入支部により様式が異なる。）

# 3 総合評価方式の評価内容

## 3-6 企業の能力等

評価項目： 若手・女性技術者の専任配置

| 評価内容 | 配点   |
|------|------|
| 配置あり | 100% |
| 配置なし | 0%   |

- ・ 申請書等の提出期間の最終日において、年齢が35歳以下の若手技術者又は女性技術者（年齢は問わない）の配置の有無。
- ・ 申請する技術者は、申請書提出期間の最終日において、3か月以上の直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。また証明資料を（健康保険証等の公的機関が発行した証明書等の写し）提出すること。
- ・ 若手技術者又は女性技術者の従事役職は問わないが、工事期間中は専任（専任特例2号を活用する監理技術者を除く。）で配置すること。
- ・ 申請時において、若手・女性技術者を特定することができない場合は、若手・女性技術者を複数名申請することができ、複数名申請した若手・女性技術者のうちいずれか1名を配置すること。
- ・ 原則として若手・女性技術者の途中交代は認めない。

※申請時は各案件の公告記載事項をご確認ください

# 3 総合評価方式の評価内容

## 3-6 企業の能力等

評価項目： 建設業労働安全衛生マネジメントシステム等の認証

| 評価内容 | 配点   |
|------|------|
| 取得   | 100% |
| なし   | 0%   |

- ・ **申請書等の提出期間の最終日において**、建設業労働災害防止協会策定の「労働安全衛生マネジメントシステム等」の取得
- ・ 建設業労働安全衛生マネジメントシステム等の認証とは、COHSMS、OHSMS、OSHMS等とする。
- ・ 認定範囲（本店、支店又は営業所等）が入札参加資格者名簿に登載された本店、支店又は営業所等が属している又は認定範囲であることを確認できる資料を提出すること。

# 3 総合評価方式の評価内容

## 3-6 企業の能力等

評価項目： 近隣地域内工事の実績

| 評価内容 | 配点   |
|------|------|
| 3件   | 100% |
| 1～2件 | 50%  |
| 0件   | 0%   |

- 令和2年4月1日から申請書等の提出期間の最終日までに元請として完成・引渡しが完了した、国・地方公共団体、公共法人（法人税法別表第1に掲げるもの。）公益法人等（法人税法別表第2に掲げるもの。）又は国土交通省令（建設業法施行規則第18条）で定める法人が発注した福岡県内における同種工事の施工実績
  - 当公社工事である場合は、工事成績評定通知書の評定点が65点以上のものであること。
  - 特定JVの構成員としての実績も認める。（出資比率が20%以上のものに限る。）
  - 施工実績として提出する工事に係るCORINSの竣工登録内容確認書類の写し（変更がある場合は最終のものであること。）を一式提出すること。
- CORINSにて、施工内容が明確かつ客観的に判断できない場合は、完成・引渡しが完了した時点の設計書、図面、特記仕様書を含む契約書等の写しを提出すること。

※申請時は各案件の公告記載事項をご確認ください



# 3 総合評価方式の評価内容

## 3-6 企業の能力等

評価項目： 継続的な技術者保有に基づく信頼度

| 評価内容    | 配点   |
|---------|------|
| 5名      | 100% |
| 2名～4名   | 50%  |
| 0名～1名未満 | 0%   |

- ・ **申請書等の提出期間の最終日において、所属業者と10年以上継続雇用する** 指定する資格を所持している技術者の保有数
- ・ 申請する技術者は、**申請書提出期間の最終日において、所属業者と10年以上継続雇用関係**にあることが確認できる資料（健康保険証等の公的機関が発行した証明書等の写し）を提出すること。
- ・ 同一の技術者が指定する資格を複数保有している場合は、代表する一つの資格にて申請すること。
- ・ 資格の保有年数は問わない。
- ・ 技術者には、代表者（社長等）も含めてよい。

※申請時は各案件の公告記載事項をご確認ください

# 3 総合評価方式の評価内容

## 3-6 企業の能力等

評価項目： 工事の確実かつ円滑な実施体制としての拠点

| 評価内容 | 配点   |
|------|------|
| あり   | 100% |
| なし   | 0%   |

- ・ **福岡県内**における本店又は本社（建設業法に規定する主たる営業所）の有無
- ・ 主たる営業所が確認できる書類（建設業許可申請書様式第1号等）の写しを提出すること。

# 3 総合評価方式の評価内容

## 3-6 企業の能力等

評価項目： 災害協定団体への加入

| 評価内容      | 配点   |
|-----------|------|
| 災害協定団体へ加入 | 100% |
| 該当なし      | 0%   |

- ・ **申請書等の提出期間の最終日**における、**当公社と災害協定**を締結する団体への加入状況。
- ・ 当公社と災害協定を締結している団体
  - （一社）日本建設業連合会、（一社）日本道路建設業協会、（一社）日本橋梁建設協会
  - （一社）福岡県地質調査業協会、（一社）建設コンサルタント協会
  - （一社）プレストレスト・コンクリート建設業協会、（一社）福岡県建設業協会

※申請時は各案件の公告記載事項をご確認ください

# 3 総合評価方式の評価内容

## 配置予定技術者の能力等の評価項目

| 型式   | 評価項目        |                         | 選択項目      |
|------|-------------|-------------------------|-----------|
| 簡易A型 | 簡易な施工計画     | 施工上配慮すべき事項              |           |
| 簡易型  | 簡易な技術提案     | 品質管理に係る技術的所見            | 1項目以上を選択  |
|      |             | 施工上配慮すべき事項 等            |           |
| 標準型  | 技術提案        | 総合コスト縮減、性能、社会的要請に係る事項等  | 1項目以上を選択  |
| 共通   | 企業の能力等      | 工事成績                    | 必須        |
|      |             | 表彰                      |           |
|      |             | 同種工事の実績                 | どれか1項目を選択 |
|      |             | 施工実績の規模                 |           |
|      |             | 〇〇工事の実績                 |           |
|      |             | 建設業労働災害防止協会加入           | 3～4項目選択   |
|      |             | 若手・女性技術者の専任配置           |           |
|      |             | 建設業労働安全衛生マネジメントシステム等の認証 |           |
|      |             | 近隣地域内工事の実績              |           |
|      |             | 継続的な技術者保有に基づく信頼度        |           |
|      |             | 工事の確実かつ円滑な実施体制としての拠点    |           |
|      |             | 災害協定団体への加入              |           |
|      | 配置予定技術者の能力等 | 工事实績                    | 必須        |
|      |             | 工事成績                    |           |
|      |             | 表彰                      |           |
|      |             | 配置予定技術者の資格              |           |
|      |             | 発注者の指定する資格保有技術者         | どれか1項目を選択 |
|      |             | 同種工事の実績                 |           |

# 3 総合評価方式の評価内容

## 3-7 配置予定技術者の能力等

評価項目： 工事实績

| 評価内容                    | 配点   |
|-------------------------|------|
| 監理(主任)技術者あるいは現場代理人として従事 | 100% |
| 監理技術者補佐として従事            | 50%  |
| 担当技術者として従事または実績なし       | 0%   |

- 平成27年4月1日から申請書等の提出期間の最終日までに元請として完成・引渡しが完了した、国・地方公共団体、公共法人（法人税法別表第1に掲げるもの。）公益法人等（法人税法別表第2に掲げるもの。）又は国土交通省令（建設業法施行規則第18条）で定める法人が発注した同種工事に技術者（監理技術者等）として従事した工事实績。
  - 当公社工事である場合は、工事成績評定通知書の評定点が65点以上のものであること。
  - 特定JVの構成員としての実績も認める。（出資比率が20%以上のものに限る。）
  - 施工実績として提出する工事に係るCORINSの竣工登録内容確認書類の写し（変更がある場合は最終のものであること。）を一式提出すること。
- CORINSにて、施工内容及び従事実績が明確かつ客観的に判断できない場合は、完成・引渡し完了した時点の設計書、図面、特記仕様書を含む契約書等の写しを提出すること。
- 従事期間は、1年未満の実工期にあっては実工期の1/2以上であること、1年以上の実工期にあっては180日以上であること。

※申請時は各案件の公告記載事項をご確認ください



# 3 総合評価方式の評価内容

## 3-7 配置予定技術者の能力等

評価項目： 工事成績

| 評価内容      | 配点   |
|-----------|------|
| 80点以上     | 100% |
| 77点以上     | 75%  |
| 74点以上     | 50%  |
| 71点以上     | 25%  |
| 71点未満又はなし | 0%   |

- 対象工事は、平成27年4月1日から令和7年3月31日までの間に元請として、完成・引渡しが完了した当公社発注工事（工事種別は発注工事と同種別）に技術者として従事した、工事成績1件の実績
- ただし、当公社発注工事の実績がない場合で、令和2年4月1日から令和7年3月31日までの間に元請として、完成・引渡しが完了した国土交通省九州地方整備局発注工事（工事種別は発注工事と同種別に限る。）において、工事成績評定を受けた工事成績に低減率を乗じた値
- 従事期間は、1年未満の実工期にあっては実工期の1/2以上であること、1年以上の実工期にあっては180日以上であること。

※申請時は各案件の公告記載事項をご確認ください

# 3 総合評価方式の評価内容

## 3-7 配置予定技術者の能力等

評価項目：表彰

| 評価内容 | 配点   |
|------|------|
| 表彰あり | 100% |
| 表彰なし | 0%   |

- ・対象は、平成27年4月1日から申請書等の提出期間の最終日までに当公社から優良技術者表彰を受けた実績
- ・土木関係工事の場合の対象工事種別は、「土木、鋼橋、舗装、塗装、プレストレスト・コンクリート、しゃ音壁、道路標識・区画線、造園」とする。年間委託業務は除く。
- ・施設関係工事の場合の対象工事種別は、「発注する工事と同じ工事種別に限る」とする。

# 3 総合評価方式の評価内容

## 3-7 配置予定技術者の能力等

評価項目： 配置予定技術者の資格

| 評価内容      | 配点   |
|-----------|------|
| 10年以上     | 100% |
| 5年以上10年未満 | 75%  |
| 3年以上5年未満  | 50%  |
| 3年未満      | 0%   |

- ・対象は、**申請書等の提出期間の最終日**における当公社が指定する資格の有資格年数
- ・土木関係工事の場合は、**1級土木施工管理技士又は技術士（建設部門又は総合技術管理部門（建設部門関連科目））**の資格取得年数
- ・施設関係工事の場合は、**1級電気通信工事施工管理技士又は技術士（電気電子部門又は総合技術管理部門（電気電子部門関連科目））**の資格取得年数

### 3 総合評価方式の評価内容

#### 3-7 配置予定技術者の能力等

評価項目：発注者の指定する資格保有技術者

| 評価内容 | 配点   |
|------|------|
| 資格有り | 100% |
| 資格なし | 0%   |

- ・対象は、**申請書等の提出期間の最終日**において、**発注者の指定する資格保有の有無**。
- ・例として、舗装工事の場合は、「1級舗装施工管理技術者」の資格保有について求めています。

# 3 総合評価方式の評価内容

## 3-7 配置予定技術者の能力等

評価項目： 同種工事の実績

| 評価内容 | 配点   |
|------|------|
| 3件   | 100% |
| 2件   | 50%  |
| 0～1件 | 0%   |

- 平成27年4月1日から申請書等の提出期間の最終日までに元請として完成・引渡しが完了した、国・地方公共団体、公共法人（法人税法別表第1に掲げるもの。）公益法人等（法人税法別表第2に掲げるもの。）又は国土交通省令（建設業法施行規則第18条）で定める法人が発注した同種工事に**技術者（監理技術者等）として従事した工事実績**。
  - 当公社工事**である場合は、工事成績評定通知書の評定点が**65点以上**のものであること。
  - 特定JVの構成員としての実績も認める。（出資比率が20%以上のものに限る。）
  - 施工実績として提出する工事に係るCORINSの竣工登録内容確認書類の写し（変更がある場合は最終のものであること。）を一式提出すること。
- CORINSにて、**施工内容及び従事実績が明確かつ客観的に判断できない場合は、完成・引渡し**  
**が完了した時点の設計書、図面、特記仕様書を含む契約書等の写しを提出すること。**
- 従事期間は、**1年未満の実工期にあっては実工期の1/2以上であること、1年以上の**  
**実工期にあっては180日以上であること。**

※申請時は各案件の公告記載事項をご確認ください



# 目次

- 01 総合評価方式の概要
- 02 福岡北九州高速道路公社の総合評価方式
- 03 総合評価方式の評価内容
- 04 技術資料提出にあたって
- 05 無効の入札について
- 06 低入札価格調査制度について
- 07 R7年度からの申請書等提出について
- 08 監理技術者等の専任配置の特例



# 4 技術資料提出にあたって

## 4-1 一括審査について

- ・一般競争入札（総合評価方式）において、次の2点いずれも満たす工事については、複数工事の競争入札に参加を希望する場合であっても、技術資料の提出は1件のみ（先に開札する概算金額の高い工事）とし、申請者の負担軽減を図る制度である。

- ①複数工事を同時期に発注する工事
- ②競争参加資格要件等が共通の工事など

- ・一抜け（条件付き）工事の適用について  
複数の工事のうち1件の工事しか落札できない所謂「一抜け（条件付き）」を原則、適用する。※詳細は下記参照

### 【入札説明書記載例 3. 競争参加資格条件に記載】

- ・公社が発注する下記の工事のうち、いずれか1件を落札した者は、その他1件の工事の入札参加資格はないものとする（その他1件の工事の入札は無効として取り扱う。）。  
なお、概算金額の高い工事から開札する。

- ・ ○○～□□橋梁補修工事(R7-2)
- ・ ○○～△△橋梁補修工事(R7-1)

※申請時は各案件の公告記載事項をご確認ください

# 4 技術資料提出にあたって

## 4-1 一括審査について

（一括審査に申請する場合の注意事項）

- （1） **複数の工事に参加を希望する場合であっても「簡易な施工計画（技術提案）」は同一とし、工事毎に異なる「簡易な施工計画（技術提案）」を提出した場合は、希望する工事全て「欠格」扱いとします。**
- （2） **配置予定技術者については、複数の配置予定技術者を申請することが可能。**
- （3） **技術資料の提出先は「先に開札する概算金額の高い工事」になる。ただし、様式第1－簡「競争参加資格確認申請書」は個別に提出が必要。**

# 4 技術資料提出にあたって

## 4-2 技術資料の注意事項

(技術資料不備の例)

- (1) 添付資料の添付し忘れ、印刷不備による判読不明
- (2) 明確かつ客観的に判断できない提出資料
- (3) 対象期間外の表彰及び工事实績の申請
- (4) 配置予定技術者の工事成績で、発注機関が対象外や完成日が対象期間外等



評価の対象と  
されない場合  
があります。

# 4 技術資料提出にあたって

## 4-2 技術資料の注意事項

(実績提出の注意事項)(入札公告より一部抜粋)

- (1) 競争参加資格及び総合評価項目に掲げる施工実績が、**当公社発注工事である場合は、工事成績評定通知書の評定点が65点以上のものであること。**
- (2) 競争参加資格及び総合評価項目に掲げる施工実績及び工事成績が、特定JVの構成員である場合は、**出資比率が20%以上の場合のものに限る。**
- (3) 維持補修及び道路清掃に係る業務は実績として認めない。
- (4) **配置予定技術者の施工実績及び工事成績における従事期間は、1年未満の実工期にあっては実工期の1/2以上であること、1年以上の実工期にあっては180日以上であること。**



# 4 技術資料提出にあたって

## （技術資料不足の例）

### （１） 同種工事や近隣地域内工事の実績の添付資料

当該工事の施工内容及び技術者の従事実績が明確かつ客観的に判断できない場合は、完成・引渡しが完了した時点の「仕様書」、「内訳書」、「図面」などを添付してください。

#### （同種工事項目における添付資料不足事例）

- ・「自動車専用道路での規制有り」の工事か確認できる協議書など
- ・「鋼橋（桁）」を確認できる図面や内訳書など
- ・「技術者の従事実績」が確認できるしゅん工届など

### （２） 工事成績評定点通知書や表彰状の添付資料

技術資料提出前に、**申請する工事が該当する工事種別**が照らし合せ、提出してください。

#### （添付資料事例）

- ・「工事種別：舗装」が対象だが「工事種別：土木」の工事成績の提出



# 目次

- 01 総合評価方式の概要
- 02 福岡北九州高速道路公社の総合評価方式
- 03 総合評価方式の評価内容
- 04 技術資料提出にあたって
- 05 無効の入札について
- 06 低入札価格調査制度について
- 07 R7年度からの申請書等提出について
- 08 監理技術者等の専任配置の特例



# 5 無効の入札について

## ◎ 入札説明書より抜粋 (入札の無効等)

競争入札心得第7条第1項の規定により、入札金額の**内訳書を提出しない者**、又は内容が未記入などの**不備がある入札金額の内訳書を提出した者**が行った入札は**無効**とする。

- ①競争参加資格のない者のした入札
- ②申請書等に**虚偽の記載**をした者のした入札
- ③別添の現場説明書において「入札上の注意事項」に違反した入札
- ④工事請負契約等の取扱いに関する細則（平成12年9月20日福岡北九州高速道路公社細則第7号）第10条の各号に掲げる入札
- ⑤競争入札心得第11条の各号に掲げる入札
- ⑥調査基準価格を下回った価格で入札を行うものであって、入札書提出時に、低入札価格調査票の提出がない入札

## ◎ 競争入札心得より抜粋

第11条 次の各号の一に該当する入札は無効又は失格とし、無効の入札を行った者を落札者としていた場合には、落札決定を取り消すものとする。

※申請時は各案件の公告記載事項をご確認ください



# 目次

- 01 総合評価方式の概要
- 02 福岡北九州高速道路公社の総合評価方式
- 03 総合評価方式の評価内容
- 04 技術資料提出にあたって
- 05 無効の入札について
- 06 低入札価格調査制度について
- 07 R7年度からの申請書等提出について
- 08 監理技術者等の専任配置の特例

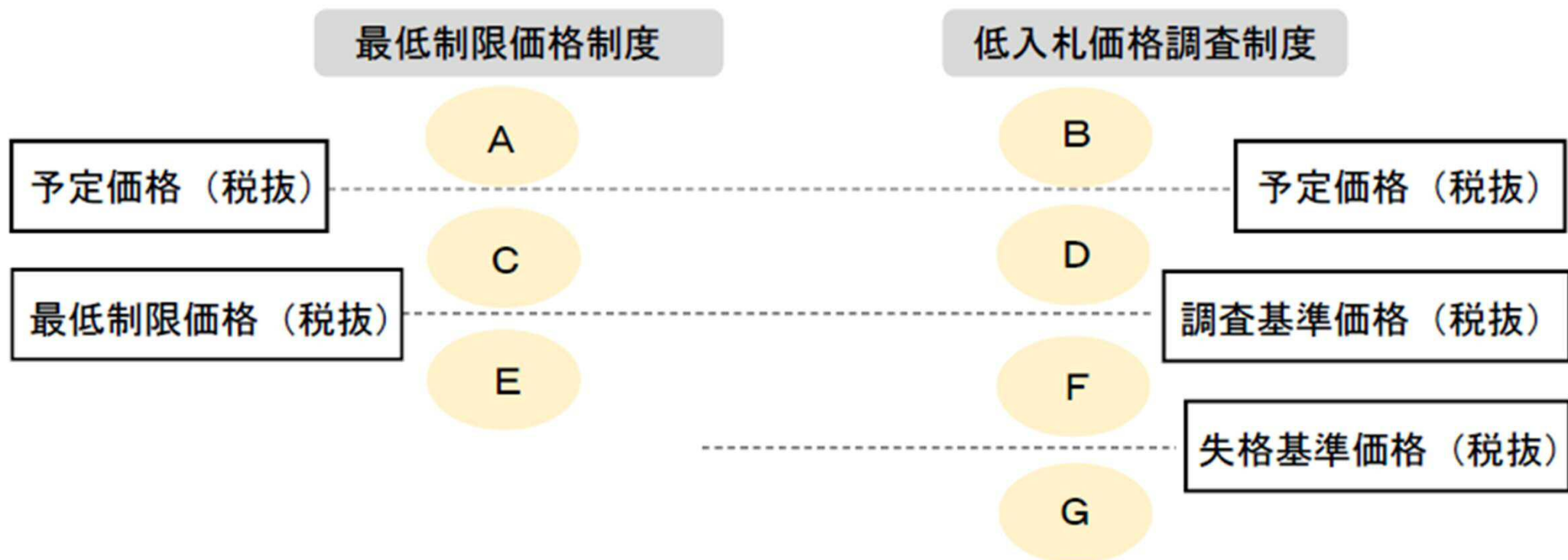


# 6 低入札価格調査制度について

## 6-1 低入札価格調査制度とは

- 最低制限価格制度に代わるダンピング対策として導入
- 総合評価方式による一般競争入札に適用
- 「**調査基準価格**」と「**失格基準価格**」を設定

### 4. 低入札価格調査 イメージ図



# 6 低入札価格調査制度について

## ①失格基準価格

調査基準比較価格の99.0%

### 1 2. 失格基準価格

低入札価格調査試行要領第7条に基づき、失格基準価格を下回った価格で入札を行った者は、低入札価格調査を行わずに失格とする。

#### (1) 算定方法

失格基準価格（税抜）＝調査基準価格（税抜）×0.99（千円未満端数切り上げ）

## ②低入札価格調査の項目

- 1) 当該工事で入札した理由
- 2) 手持ち工事の状況
- 3) 対象工事箇所と事務所及び資材庫等との地理的關係
- 4) 手持ち資材及び機械の状況
- 5) 資材購入予定先及び機械等リース元予定者との關係
- 6) 労務者の確保及び下請予定業者の状況
- 7) 品質確保に係る施工管理計画
- 8) 安全管理の計画
- 9) 環境対策の計画

※申請時は各案件の公告記載事項をご確認ください



# 6 低入札価格調査制度について

## 6-2 調査基準価格を下回った価格で契約した場合

(1) 契約保証金の額を、請負代金額(税込)の10分の3以上とすること。

(2) 違約金の額は、請負代金額(税込)の10分の3とすること。

(3) 【予定価格(税込)が**5億円以上**の場合】

主任技術者又は監理技術者(以下、監理技術者等とする。)とは別に、**監理技術者等に求める競争参加資格条件を満たす技術者を1名専任で配置**することとする。

(4) 【予定価格(税込)が**5億円未満**の場合】

監理技術者等を**専任**で配置すること。( 現場代理人との兼務は認めない。 )

(5) **現場代理人及び技術者**(監理技術者、主任技術者、特例監理技術者、監理技術者補佐又は増員配置技術者)は、**他工事との兼務は認めないものとする。**



# 目次

- 01 総合評価方式の概要
- 02 福岡北九州高速道路公社の総合評価方式
- 03 総合評価方式の評価内容
- 04 技術資料提出にあたって
- 05 無効の入札について
- 06 低入札価格調査制度について
- 07 R7年度からの申請書等提出について
- 08 監理技術者等の専任配置の特例



# 7 R7年度からの申請書等提出について

## <提出書類一覧>（一部抜粋資料）

| ●電子入札システムで提出する書類 |                                                                                                                                                                                         |                              |                |                                                                                                                             |
|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| No.              | 様式                                                                                                                                                                                      |                              | 提出形式           | 備考                                                                                                                          |
| ①                | 様式第1-簡                                                                                                                                                                                  | 競争参加資格確認申請書                  | PDF            | 電子入札システムにより提出する場合は、①「様式第1-簡」には押印不要。<br><br>各様式が1頁内に収まるよう作成すること。<br><br>①～⑮は1ファイルに集約すること。<br><br>PDF 及び Word 形式のファイル名は任意とする。 |
| ②                | 様式第2                                                                                                                                                                                    | 当該工事種別の工事成績                  |                |                                                                                                                             |
| ③                | 様式第3                                                                                                                                                                                    | 同種工事施工実績                     |                |                                                                                                                             |
| ④                | 様式第4                                                                                                                                                                                    | 配置予定技術者の資格・施工経験等             |                |                                                                                                                             |
| ⑤                | 様式第5                                                                                                                                                                                    | 当該工事種別の工事成績等                 |                |                                                                                                                             |
| ⑥                | 様式第6                                                                                                                                                                                    | 施工実績の規模                      |                |                                                                                                                             |
| ⑦                | 様式第7                                                                                                                                                                                    | 建設業労働災害防止協会加入                |                |                                                                                                                             |
| ⑧                | 様式第8                                                                                                                                                                                    | 若手技術者・女性技術者の専任配置             |                |                                                                                                                             |
| ⑨                | 様式第9                                                                                                                                                                                    | 近隣地域内工事の実績                   |                |                                                                                                                             |
| ⑩                | 様式第10                                                                                                                                                                                   | 工事の確実かつ円滑な実施体制としての拠点         |                |                                                                                                                             |
| ⑪                | 様式第11                                                                                                                                                                                   | 配置予定技術者の工事実績等                |                |                                                                                                                             |
| ⑫                | 様式第12                                                                                                                                                                                   | 配置予定技術者のしゅ音壁工事の経験            |                |                                                                                                                             |
| ⑬                | 様式第13                                                                                                                                                                                   | 申請時における他工事等の従事状況             |                |                                                                                                                             |
| ⑭                | 様式第14                                                                                                                                                                                   | 特例監理技術者の配置を予定している場合の確認事項     |                |                                                                                                                             |
| ⑮                | 様式第15                                                                                                                                                                                   | 参加を希望する工事等一覧                 |                |                                                                                                                             |
| ⑯                | 様式第2-簡                                                                                                                                                                                  | 簡易な施工計画（競争参加資格条件及び企業の総合評価項目） | Word           |                                                                                                                             |
| ●郵送等により紙で提出する書類  |                                                                                                                                                                                         |                              |                |                                                                                                                             |
| No.              | 様式                                                                                                                                                                                      |                              | 提出部数           | 備考                                                                                                                          |
| ⑰                | 直近の法人税申告書別表2<br>「同族会社等の判定に関する明細書」<br>※連結決算等のため上記が提出できない場合は、理由書（任意様式）を提出すること。                                                                                                            |                              | 原本<br>又は<br>写し | 正・副<br>各1部<br>(計2部)                                                                                                         |
| ⑱                | いずれか1つ（申請書等の提出期間の最終日を基準として3か月以内に発行されたものに限る。）<br>・履歴事項全部証明書<br>・履歴事項一部証明書<br>・現在事項全部証明書<br>・現在事項一部証明書<br>・代表者事項証明書                                                                       |                              |                |                                                                                                                             |
| ⑲                | その他 各様式の添付資料<br>※CORINSに登録、未登録にかかわらず、当該工事の施工内容及び技術者の従事実績が明確かつ客観的に判断できない場合、当該工事名、施工内容及び技術者の従事実績が明確かつ客観的に判断できる資料（図面、設計書、特記仕様書を含む契約書等の写し、しゅん工を確認できる資料及び施工計画書等の当該工事に従事したことが確認できる資料）を提出すること。 |                              | 写し             | 正・副<br>各1部<br>(計2部)                                                                                                         |

公告時に公開される入札説明書に提出書類一覧というものがあります。

R7年度より、これら提出書類について、**申請書提出期間の最終日の3営業日前の15時まで**に提出されて、申請書及び添付資料に不足がある場合は、当社から確認の連絡を行います。

**（注意）**  
不足資料の提出を行った場合でも、競争参加資格を満たしていることを確定するものではありません。競争参加資格は申請書締切後の審査で確認いたします。

※申請時は各案件の公告記載事項をご確認ください



# 目次

- 01 総合評価方式の概要
- 02 福岡北九州高速道路公社の総合評価方式
- 03 総合評価方式の評価内容
- 04 技術資料提出にあたって
- 05 無効の入札について
- 06 低入札価格調査制度について
- 07 R7年度からの申請書等提出について
- 08 監理技術者等の専任配置の特例



## 8 監理技術者の専任配置の特例について

国又は地方公共団体が発注者である場合であって、**請負金額が4,500万円以上**である場合は、工事の安全かつ適正な施工を確保するために、工事現場ごとに**監理技術者は専任**である必要があります。（建設業法第26条第3項）

### 【専任とは】

専任とは、他の工事現場に係る職務を兼務せず、常時継続的に当該工事現場に係る職務にのみ従事していることをいいます。（監理技術者制度運用マニュアル 三）

「専任」とは、必ずしも工事現場への「常駐」を必要とするものではありません。技術研鑽のための研修、講習、試験等への参加、休暇の取得、その他の合理的な理由で短期間工事現場を離れることが可能。

- ①適切な施工ができる体制を確保
- ②発注者や元請等の了解を得ている

次ページで記載する各種条件を満たしている場合は、**監理技術者の専任配置の特例として二つの現場を兼務することができる。**

## 8 監理技術者の専任配置の特例について

専任の監理技術者を置く必要がある工事のうち、要件を満たす場合、他の工事を兼務することができます。（建設業法第26条第3項）

よくわかる建設業法（九州地方整備局）より抜粋

当公社において専任特例2号（監理技術者補佐）を活用する監理技術者を配置する場合の条件

(1) 監理技術者補佐をそれぞれの現場に専任で配置すること。

（建設業法第26条ただし書き）

(2) 監理技術者補佐は一級土木施工管理技士補又は一級施工管理技士等の国家資格者、学歴や実務経験により監理技術者の資格を有する者であること。

(3) 監理技術者補佐は所属業者と3カ月以上の恒常的な雇用関係にあること。

(4) 同一の専任特例2号を活用する監理技術者が配置できる工事は、同時に2件までとする。

(5) 専任特例2号を活用する監理技術者が兼務できる工事は福岡県内の工事であること。

(6) 専任特例2号を活用する監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の立会等の職務を遂行すること。

(7) 専任特例2号を活用する監理技術者と監理技術者補佐との間で常に連絡が取れる体制であること。

(8) 監理技術者補佐が担う業務等について、明らかにすること。

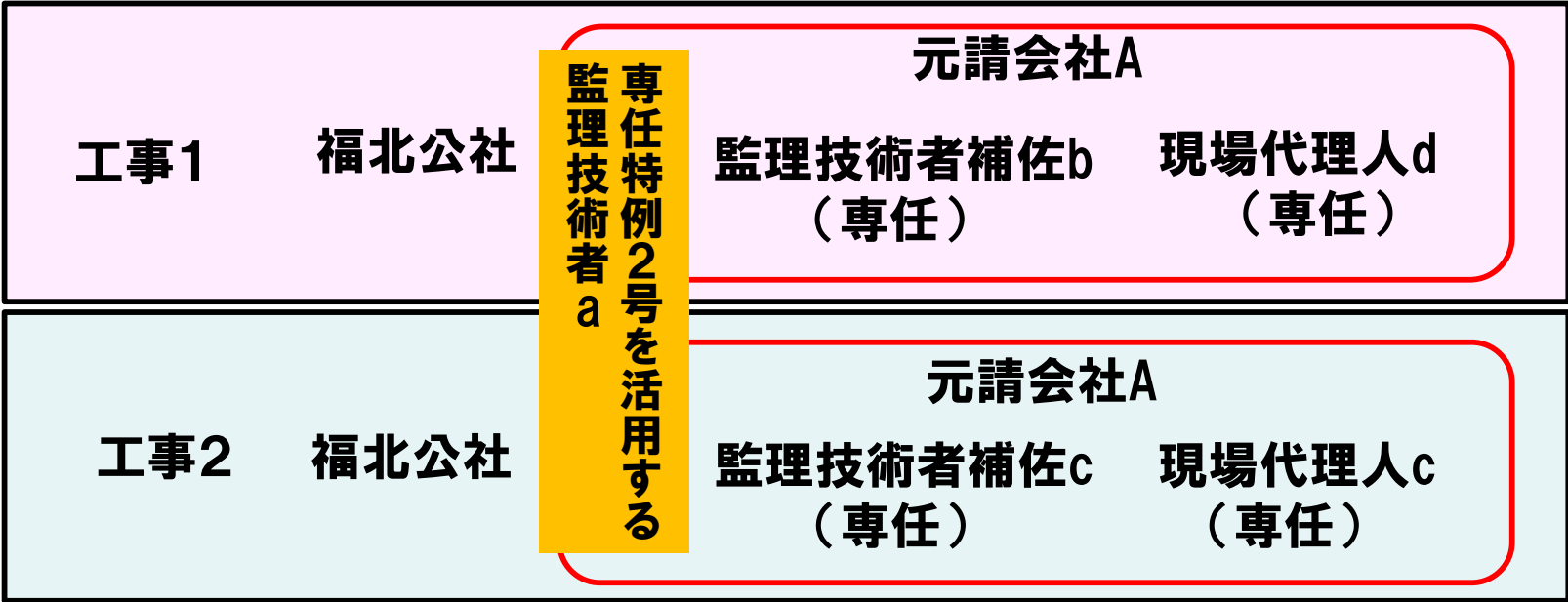
※ 「専任特例2号を活用する監理技術者」は、R6年度までの特例監理技術者を指します。

※ 申請時は各案件の公告記載事項をご確認ください



# 6 監理技術者の専任配置の特例について

(当公社工事における専任特定2号を活用する監理技術者適用イメージ)



(配置が想定されるケース)

| 工事           | 専任特例2号を活用する<br>監理技術者 | 監理技術者補佐<br>(専任特例2号) | 現場代理人 |
|--------------|----------------------|---------------------|-------|
| 工事1<br>(既契約) | a                    | b                   | b又はd  |
| 工事2<br>(新規)  | a                    | c                   | c又はe  |

【注意】専任特例2号を活用する監理技術者を配置できない場合  
 1. 低入札調査制度における調査基準価格以下での落札 2. 他発注機関発注工事との兼務は適用できない場合がある 54



**ご清聴ありがとうございました。**

**福岡北九州高速道路公社  
企画部 技術管理課**